

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【美術】

書名 項目	美術	9
		開隆堂
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○小学校で学んだことを踏まえ、学びの地図として全体像を捉え、各題材で、ヒント、用語等、端的に説明・表示し造形的視点が広がる工夫がある。</p> <p>○題材と関連づけ「学びの資料」が巻末に設けられ、技法、用具、関連作品など詳しく表記され、生徒が創造的に表現できる工夫がある。</p>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○表現や構想を練る目標が示され、「学習のポイント」では表現でのヒントを提示することで、生徒が豊かに発想し構想する手立てとなっている。また、目標は「ねらい」と「ふりかえり」にも連携する内容でもあり、生徒の思考力、判断力、表現力等を育成する工夫ともなっている。</p>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○題材の説明文は、「共通事項」を意識しねらいや思いを表現へとつなげる内容である。ジャンルごと鑑賞学習の流れを示し、多岐に渡る創造活動も網羅することで生徒の感性を高める内容となっている。</p>	
	<p>〈一人一人のよさや可能性を伸ばすようにするための工夫〉</p> <p>○作品の大きさを含め、マークや表記の大きさ、配置の工夫がある。また作品以外の色合いも控えめにし、イメージが捉えやすいよう工夫されている。</p> <p>○鑑賞作品は、部分の拡大等、画質や質感まで感じ取れる構成となっている。「学習のポイント」で見方や感じ方も示し自分の価値観を大切にした鑑賞の充実が図られている。</p> <p>○国際性、郷土愛を育む視点や、実生活の中で実際に使われているものなどを広く紹介し、美術を通して学ぶ魅力を伝える工夫がされている。</p>	
資料	<p>○ICTやアニメなど表現方法を広げる資料も掲載し、生徒の意欲、発想を広げる工夫がある。</p> <p>○題材に関連した作家・生徒作品を掲載し、QRコードからは美術館や作家の紹介等へのリンクがあり、表現や鑑賞を支援できる内容である。</p>	
表記・表現	<p>○題材名は、意味を考えたりイメージの広がり意識できるよう工夫されている。マークが多様され目標・ポイントが捉えやすいよう工夫されている。</p> <p>○各ページ下に教科マークを示し、他教科と関連づけ分類し学習内容を示し学習を深める手立てとなっている。</p>	
総括	<p>○「美術1」「美術2・3」の2冊構成であり、インクルーシブ教育やUDに配慮した色彩表示、ルビふり等、多様な個性の生徒にも見やすい教科書となっている。</p>	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【美術】

書名 項目	美術	38
		光村
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○各題材で作家の作品を中心に添え、関連した生徒作品の掲載とスケッチや発想のヒント等を示すことで、造形的見方や視点を感じとれる工夫がある。</p> <p>○「学習を支える資料」は技法や用具の使い方説明と動画にもリンクでき、鑑賞資料も掲載し基礎基本の知識・技能が習得できるよう工夫されている。</p>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○「みんなの工夫」として生徒の実際の制作過程を丁寧に掲載・説明し、「表現」マークから発想・構想でのヒントや工夫点などを示すことで、生徒の思考力、判断力、表現力等を育成する工夫となっている。</p>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○「うつくしい！」では詩を交えた美を紹介し、「日本の世界文化遺産」「地域と美術のつながり」「美術の力」など社会へ広がる美や働きにも触れることで生徒が心豊かに創造する態度の工夫がなされている。</p>	
	<p>〈一人一人のよさや可能性を伸ばすようにするための工夫〉</p> <p>○「共通事項」を意識した各題材での作品提示と、発想や構想を捉える作者の言葉や生徒作品の紹介からイメージが捉えられるよう工夫されている。</p> <p>○生徒の制作過程を発想から完成まで制作風景やコメント等を多く掲載し、生徒が共感できる場面を具体的に示すことで言語活動の充実が図られるよう工夫されている。</p> <p>○SDGs(持続可能な開発目標)など17の目標からの社会とのつながりも意識した内容となっており、知識・理論の学習に偏りがないよう配慮されている。</p>	
資料	<p>○「映像メディアの活用」でICTを使った映像表現の広がりや活用についての充実が図られている。</p> <p>○題材によってQRコードを掲載し、作品の360度動画や作品説明音声、技法動画等視聴でき、表現、鑑賞の支援ができるよう工夫されている。</p>	
表記・表現	<p>○表現、鑑賞のページでは「鑑賞」マークを入れ鑑賞を通した印象など投げかけ表現と鑑賞が相互に補完できるよう工夫されている。</p> <p>○二つ折りページや原寸大の資料、印刷物を和紙風にする、トレーシングペーパーでの書き込み資料など「風合い」を生徒に体感させる工夫がある。</p>	
総括	<p>○「美術1」「美術2・3」の二冊構成で、時代や題材のイメージに即した作品の選定、鑑賞と表現が生徒の創作活動に呼応するような生徒作品・スケッチ・言葉を示し、全体の流れの共通化が図りやすい教科書である。</p>	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【美術】

書名 項目	美術	116
		日文
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○生徒の作品を大きめに多数掲載し、生徒の言葉や作品説明、「共通事項」を取り入れた説明文から、造形的な広がりを持つよう工夫されている。</p> <p>○「参照」マークから「学びを支える資料」と関連づけた学習ができる工夫があり、補足的に表現手順等詳しく示すことで基礎・基本の知識技能が習得できるよう工夫している。</p>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○「造形的な視点」は、「共通事項」を視点としての着目内容であり、イメージや印象を訴える解説文も踏まえ造形的活動を広げる工夫となっている。また生徒の作品掲載とコメントや発想を広げる説明文での投げかけ等から、思考力、判断力、表現力等の育成工夫となっている。</p>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○「あなたらしさを見つけて」等、生徒が自分自身をみつめ創作へつながる工夫と、「学びの言葉」など社会人からのコメントや美術が社会で生かされている作品も紹介し美術での感性を豊かにする内容となっている。</p>	
	<p>〈一人一人のよさや可能性を伸ばすようにするための工夫〉</p> <p>○平面、立体作品を問わず幅広いジャンルの作品を生徒や作者の言葉と共に掲載すると共に、巻末資料の充実が図られ造形的な特徴なども捉えながら自分の作品作りにつながるよう考えられている。</p> <p>○自分の価値観を持ちながら話し合う活動場面写真や生徒の言葉を使ったコメントを入れることで、言語活動の充実が図れる工夫がある。</p> <p>○「あなた」「私へ」「笑顔」「みんな」等の言葉を題材に入れ、形にする楽しさ自由に創作できる雰囲気を示し理論などに偏らない配慮がある。</p>	
資料	<p>○「動画をつくる」などICTの活用や、QRコードから生徒作品動画や解説動画が参照でき、表現・鑑賞の支援ができる工夫がある。</p> <p>○2つ折りの鑑賞資料や原寸大作品も掲載すると共に、ESD(社会的問題)資料や他教科との連携も図り生徒の興味関心を広域に広げる工夫がある。</p>	
表記・表現	<p>○題材名の上段に活動内容や目的を示すサブタイトルを表記し、学びの手立てが理解しやすくなるよう配慮されている。</p> <p>○三つの柱に基づいて「学びの目標」が示され、生徒が振り返りや自己評価する際への手立てとなっている。</p>	
総括	<p>○「美術1」「美術2・3上」「美術2・3下」の三冊構成であり、生徒目線での題材名や投げかけ、生徒作品の紹介を多用し短時間教材も取り入れ、生徒の発達段階に応じた学びが育める教科書である。</p>	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【保健体育】

書名 項目	新しい保健体育	2 東書
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">○1見開き(1単位時間)のキーワードを示し、学習のポイントがわかりやすくなっており、習得した知識・技能を活用してより深く考えられるようになっている。○各章末の「確認の問題」では、知識の習得状況を確認することができるようになっている。○技能を映像で確認できるデジタルコンテンツが用意されている。	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">○各単元の活動「見つける」「課題の解決」「広げる」は、それぞれのステップに応じて思考力、判断力、表現力を育成できるような発問が設定されている。課題の合理的な解決に向けて、自他の生活に当てはめながら思考し判断するとともに、それを表現することができるように工夫されている。	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">○巻頭に「この教科書の使い方」等が掲載されており、教科書の構成を理解し、保健体育の学習に主体的に取り組めるよう配慮されている。○学習したことを自他の生活に当てはめて考える活動が設けられており、学びへの意欲を喚起するように工夫されている。	
	<p>〈生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">○「見つける」「課題の解決」「広げる」の活動をとおして身に付いた資質・能力によって、現在及び将来の生活において、健康に関する課題に対して、科学的な思考と正しい判断の下に適切な意思決定・行動選択を行い、適切に実践していくことができるように工夫されている。	
資料	<ul style="list-style-type: none">○巻頭、巻末には共通の視点を重視しスポーツをとおした多様な関わり方を紹介した口絵、各章末には今日的な課題に対応した資料が掲載されている。○学習内容に関連する動画やシミュレーション、他教科の教科書紙面などが二次元コードとともに簡単にアクセスできるようになっている。	
表記 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none">○ユニバーサルデザインの視点から、教育漢字以外の常用漢字全てに、ふりがなをつけ、紙面の色数を限定するなど、誰もが見やすいように工夫されている。○発達段階に応じた適切な用語で簡潔明瞭に表現されている。○キーワードはゴシック体で区別され、巻末に「キーワードの解説」が設けられている。	
総括	<p>教科書とデジタルコンテンツがリンクしていて、具体的な場面を映像と音声で伝える動画教材や、数値を入力したり画面をタップしたり、思考錯誤できるシミュレーション教材などが充実している。学校だけでなく、家庭でも手軽にコンテンツを呼び出して学びを深めることができ、生徒が主体的に学べる教科用図書である。</p>	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【保健体育】

書名 項目	中学校保健体育	4
		大日本
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○各小単元の本分で基礎的・基本的な学習内容を分かりやすい言葉で明示し、学習すべき内容の確実な習得が図れるようになっている。</p> <p>○まとまりのある本文・資料により、生徒が授業前や授業後に自学自習を行いやすくなっている。</p>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○各小単元では、課題を発見する活動「つかもう」、課題を解決する活動「やってみよう」、「話し合ってみよう」、「調べてみよう」、学習したことを活かす活動「活用して深めよう」などの活動により、思考力、判断力、表現力等を総合的に育成されるようになっている。</p>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○口絵では、生徒が保健体育を学習する重要性を理解し、自分のこととして捉え、主体的に学習に取り組む態度が養われるようになっている。</p> <p>○導入の活動「つかもう」では、生徒に身近な題材や自分の生活について取り上げており、主体的に学習に取り組む態度を育むことができるようになっている。</p>	
	<p>〈生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫〉</p> <p>○主体的で・対話的で深い学びを通して、課題を解決し、学びを生活に活かすことで、現在から未来へと「生きる力」が身に着くように工夫している。</p>	
資料	<p>○紙面に2次元コードを掲載し、ホームページ上にウェブコンテンツを用意し、学習をより理解したり、広げたりすることができるようになっている。</p> <p>○イラストや写真が生徒の学習意欲を喚起したり、興味・関心を引いたりするようなものに厳選されている。</p> <p>○グラフや表が視覚的に捉えやすいように工夫されている。</p>	
表記 ・ 表現	<p>○見開きページの左半分が本文、右半分が資料という構成が統一されている。</p> <p>○生徒の発達段階を考慮して、平易でわかりやすい表現になっている。</p> <p>○常用漢字、現代仮名遣いを原則とし、教育漢字以外には、見開きページの初出ごとに、ふりがなをつけている。</p> <p>○記入欄を広く設け、表現力を高められるようにしている。</p>	
総括	<p>生徒が学習の流れを理解し、見通しを持って学習を進めることができるようになっている。各章末の「学びを活かそう」では、自らの課題を発見し、主体的に取り組むなかで、資料から読み取り、仲間と話し合う等をとおして、深い学びが実現できるようになっている。学習したことを他の教科に活かし、家庭や地域で活用できるような工夫がされている。</p>	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【保健体育】

書名 項目	最新 中学校保健体育	50
		大修館
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">○「キーワード」欄と本文中の基本的な知識の重要語句がわかりやすく太字で表記され、学習時間のおわりに「学習のまとめ」ですぐに復習できるように工夫されている。○学習冒頭の「課題をつかむ」や「学習のまとめ」にやってみよう、話し合おうなどと投げかけがあり、特集資料、クローズアップ、章のまとめのページでも知識技能の習得ができるようになっている。	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">○「課題をつかむ」「学習のまとめ」で意見を出そうや、Aさんにアドバイスしてみよう、話し合おうと、表現する機会を設け、特集資料にロールプレイ、「章のまとめ」の問題に表現させる機会を用意している。	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">○「ほり下げる」の項目は更に興味を沸かせ、「コラム」は生き方にヒントを得られそうな人物や実例に基づくエピソードを取り上げ、更なる知識習得への導きや人間性が学べるように工夫されている。	
	<p>〈生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">○健康安全について科学的に理解できるよう、グラフの資料が多く、実物のカラー写真やわかりやすいイラストを多く提示している。○体育分野と保健分野の関連を図れるよう、本文に体育の授業、運動部活動の時の様子を例示している。○オリンピック・パラリンピックでの競技中の写真を多く使い、さらに外国の方、高齢者の方、昔や今の写真やエピソードを多く扱って、運動・スポーツの意義や多様性、生涯スポーツにつなげようとする工夫がある。	
資料	<ul style="list-style-type: none">○本文は短くまとめられ、資料を大きめに配置するなどUDの観点で示されている。○「課題をつかむ」から「学習のまとめ」まで一連の流れができ、毎時間のキーワードが確認できたり、「特集資料」や「章のまとめ」問題も用意されている。また、ページ下の「web 保体情報館」マークや「掘り下げる」欄で更なる情報や知識を習得できるようになっている。	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none">○文字や資料・イラスト、写真が大きくて見やすい。本文は、です・ます調で、コーナーでは…しよう、…みようで統一されている。○本文中、鮮やかなデザインマークで示されていて、同色で分けられた資料が探しやすく、ポイントを押さえやすい。	
総括	<ul style="list-style-type: none">○関連したイラストや写真が多く、それでいてうまくレイアウトされている。内容も「課題をつかむ」から「学習のまとめ」で統一して学ばせる流れが取り組ませやすい。「コラム」などの資料では同世代(中学生)の実情や今外国で活躍しているスポーツ選手、歴史を学べる資料を取りあげるなど、興味を引き深まる内容が多く、生徒が興味関心を抱き、知識を習得できる教科用図書である。	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【保健体育】

書名 項目	最新 中学校保健体育	224
		学研
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">○「キーワード」欄にある基本的な知識や重要語句が、本文中にわかりやすく太字で表記されている。「課題をつかむ」「まとめる・深める」の項目で、どうしますか、…してみましようと考えを深める機会を設けている。○1単元の最後の「探求しようよ!」の項目でロールプレイの実践、「章のまとめ」『生かそう』の問題や、「実習」マークの項目で技能習得に挑戦させる機会を盛り込んでいる。	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">○「課題をつかむ」「まとめる・深める」で意見を出そうや、アドバイスしてみよう、話し合おうなどの投げかけが多くある。○「探求しようよ!」で、ロールプレイなどをあげ、他者との関わりの場を用意している。	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">○「考える・調べる」コーナーで、進んで学習に向かえるようにしている。また、「情報サプリ」で更なる知識習得を促し、「もっと広げる深める」のページを設け、興味関心を高めさせている。○「ひと」の項目では最前線の人物の記事を載せ、「コラム」では実例をあげて、教訓や生き方を学べる資料を示している。	
	<p>〈生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">○健康安全について科学的に理解できるよう、実物の写真がとても多く使われている。○体育分野と保健分野の関連を図れるよう発育・発達についての本文、「章のまとめ」『生かそう』の問題で取り上げている。また、巻末「キーワードでみる保健体育の学習内容」のページに関連を示している。○様々な分野の健康安全・スポーツに関わる人物を取り上げ、「探求しようよ!」でさらに多くの情報を載せ、運動・スポーツの意義や多様性の理解ができるよう工夫している。	
資料	<ul style="list-style-type: none">○「課題をつかむ」から「考える・調べる」「まとめる・深める」まで一連の流れの中で、キーワードや関連資料がそのページ内にわかりやすく配置されている。また、学習が深まりやすいグラフや実物の写真、わかりやすいイラストが多い。○マークで特集のページに導いて更なる理解を深められるようにするなど、関連の深い資料を提供する工夫がある。	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none">○本文と資料が均等にうまく配置され、文字も大きく、資料のイラストも色分けがされ見やすい。文章、です・ます調で統一されている。本文中の同じ色のデザインマークで示されていて資料が探しやすい。○各所のマーク自体も工夫されていてわかりやすいし、さまざまなページ等にリンクするように組み込まれている工夫がある。	
総括	<ul style="list-style-type: none">○見やすいレイアウトで内容も「課題をつかむ」から「まとめる・深める」で統一して学ばせる流れが取り組ませやすい。「口絵」ではバリアフリーにつながる幅広い分野からの視点で提示したり、章の扉では情報の新しい最前線の「ひと」を扱い、また、各資料や特集ページ、ウェブサイトなどにリンクできる工夫があるなど、生徒が自ら興味関心を深め、知識の習得に活用できる教科用図書である。	

(別紙様式)

第13 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等) 【技術分野(技術・家庭)】

書名 項目	新しい技術・家庭 技術分野	2
		東書
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○各領域の單元ごとに学習の内容と目標が設定されており、技術の仕組み、問題解決、社会発展とわかりやすく構成されている。また、技術の見方、考え方や内容も学習の進め方など、まとめについてもしやすくなっている。</p> <p>○生徒の興味・関心を引くような、様々な参考例や写真などがあり、視覚的に訴えかけ、問題解決に取り組めるよう工夫されている。</p>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○生徒の考え方を示す内容が掲載され、「問題解決カード」として該当する部分に表示し、話し合いや実物を用いた説明などがしやすくなっている。</p> <p>○課題解決的な学習が進められるよう工夫されている。</p>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○技術の進歩と社会や環境との問題を提起し、考えていくことやバランスのあり方にも目を向けている。</p> <p>○各領域のまとめとして、学習してきたことを踏まえ、これからどのように生活していくかを提言し、生徒に考えさせる工夫が見られる。</p>	
	<p>〈技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるための工夫〉</p> <p>○環境問題やSDGsの取組が示され、生徒も社会の一員であることを意識させる内容が盛り込まれている。</p> <p>○環境に対する情報や、これからの課題などについて掲載されており、今後の将来に向けて考えられるよう工夫されている。</p>	
資料	<p>○生徒が理解しやすいよう、実物の写真を多く掲載している。図やイラストも多く、文章と共に関連付けて見やすくしている。</p> <p>○「技術の工夫」など参考資料が付いており、生徒がいつでも調べられる構成となっている。</p>	
表記・表現	<p>○他の資料や領域をまたがる資料については、リンク先の表記がしてあることにより、他分野や他教科との関連が分かりやすくなっている。</p> <p>○領域ごとに色分けされ、すぐに目あてのページを開きやすくなっている。</p> <p>○A B版で今までよりサイズが大きくなり、文章と図などの配置が見やすい。</p>	
総括	<p>○学習に対する考え方がわかりやすく、写真や図なども見やすいものとなっている。基本的な知識や技能の習得、学びに向かう力など、生徒の実態に合わせることができているものとなっている。学習内容の確認や作業の手順がわかりやすく構成されている。</p>	

(別紙様式)

第13 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等) 【技術分野(技術・家庭)】

書名 項目	NEW 技術・家庭 技術分野	6
		教図
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○内容が「つくって・育てて学ぼう」「じっくり学ぼう」「学びを深め生かそう」と順序良くわかりやすく構成されている。学習の進め方などがしやすくなるよう工夫されている。</p> <p>○視覚的な要素として、様々な図や写真などが掲載され、生徒の理解を支えるよう工夫されている。</p>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○生徒への課題や問題提起がなされ、具体的な話し合いなどがしやすくなっている。実物を用いた説明などもわかりやすく工夫されている。</p> <p>○「学んだことをまとめよう」で、課題解決的な学習が進められるように工夫されている。</p>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○学習の楽しさや技術が果たす役割などの表現に工夫が見られる。これからの新しい社会に向けての考え方の参考になる。</p> <p>○環境問題など、生徒が社会の一員として考えるべき内容が盛り込まれている。</p>	
	<p>〈技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるための工夫〉</p> <p>○ガイダンスの項目で、幅広く社会の状況や技術の歴史など、今の時代に至る経緯などをわかりやすく説明している。</p> <p>○環境に対する考え方や、これから取り組むべき課題などについて掲載されており、将来に渡って考えられるよう工夫されている。</p>	
資料	<p>○生徒が理解しやすいよう、実物の写真を多く掲載している。文章と共に関連付けて見やすくしている。</p> <p>○ページの隅にも資料を入れてあり、生徒の興味関心を引く構成となっている。</p> <p>○別冊ハンドブックを利用し、学びを深める工夫がされている。</p>	
表記・表現	<p>○他の資料や領域をまたがる資料については、リンク先の表記がしてある。他分野や他教科との関連を見つけやすくなっている。</p> <p>○領域ごとに色分けされ、すぐに目あてのページを開きやすくなっている。</p> <p>○A B版で今までよりサイズが大きくなり、文章と図などの配置が見やすい。</p>	
総括	<p>○学習の進め方の流れが分かり、写真や図なども大きく見やすいものとなっている。基本的な知識や技能の習得については、生徒の実態に合わせる事ができるものとなっている。学習内容の確認がしやすく構成されている。</p>	

(別紙様式)

第13 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等) 【技術分野(技術・家庭)】

書名 項目	技術・家庭 技術分野	9
		開隆堂
内容	<知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○各領域の単元ごとに学習の内容と目標が設定されており、「何を学ぶか」がわかりやすく表示されている。また、内容も順序良く構成されており、学習の進め方やまとめなどがしやすくなっている。 ○生徒の興味・関心を支えるため、様々な参考例や考え方が掲載され、生徒の考えを実現できるよう工夫されている。	
	<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○生徒の考え方や方向性を示す内容が掲載され、課題に取り組みやすく、話し合いや実物を用いた説明などがしやすくなっている。 ○課題解決的な学習が進められるようになっている。	
	<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○学習してきたことが、わかりやすく将来に生かせるよう工夫されている。これからの新しい社会に向けて自分が何をすべきか考えられるようになっている。 ○技術の進歩と社会や環境との問題を提起し、考えていくことやバランスのあり方にも目を向けている。 ○各領域のまとめとして、学習してきたことを踏まえ、これからどのように生活していくかを提言し、生徒に考えさせる工夫が見られる。	
	<技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるための工夫> ○ガイダンスの項目で、幅広く社会の状況や技術の歴史など、今の時代に至る経緯などをわかりやすく説明している。 ○今までの世界の環境に対する考え方や、これから取り組むべき課題などについて掲載されており、将来に渡って考えられるよう工夫されている。 ○環境問題やSDGsの取組が示され、生徒も社会の一員であることを意識させる内容が盛り込まれている。	
資料	○生徒が理解しやすいよう、実物の写真を多く掲載している。図やイラストも多く、文章と共に関連付けて見やすくしている。 ○領域との間に資料があったり、ページの隅に豆知識を入れたりして、興味関心を引く構成となっている。	
表記・表現	○他の資料や領域をまたがる資料については、リンク先の表記がしてあることにより、他分野や他教科との関連が分かりやすくなっている。 ○領域ごとに色分けされ、すぐに目あてのページを開きやすくなっている。 ○A B版で今までよりサイズが大きくなり、文章と図などの配置が見やすい。	
総括	○学習に対する考え方や進め方の流れが分かりやすく、写真や図なども大きく見やすいものとなっている。基本的な知識や技能の習得、学びに向かう力など、生徒の実態に合わせることができているものとなっている。学習内容の確認や定着がしやすく構成されている。	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【家庭分野(技術・家庭)】

項目	書名	2
	新しい技術・家庭 家庭分野	東書
内容	<知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○各領域の單元ごとに学習の内容と目標が設定されており、字体もわかりやすい。また、「いつも確かめよう」などの内容も学習の進め方やまとめなどがしやすく工夫されている。 ○生徒の興味・関心を引き、知識が身につくよう写真や資料など、配置にも工夫がなされている。	
	<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○実習や製作の流れが示されており、話し合い活動などがしやすい内容に工夫されている。 ○課題解決的な学習例があり、自分たちで進められるよう工夫されている。	
	<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○家庭での生活や衣食住の問題を提起し、考えていくことの大切さやバランスのよい生活を心がけるよう工夫されている。 ○各領域のまとめとして、学習してきたことを踏まえ、これからどのように生活していくかを提言し、生徒に考えさせる工夫が見られる。	
	<実践的・体験的な活動の工夫> ○作業方法や実習例などを多く掲載し、学習してきたことを踏まえ、実践できるような工夫がされている。 ○目標の設定や自己評価など、取り組みやすい参考例が掲載されている。	
資料	○生徒が理解しやすいよう、実物の写真を多く掲載している。図やイラストも多く、文章と共に関連付けて見やすくしている。 ○領域との間に資料があったり、ページの隅に豆知識を入れたりして、興味関心を引く構成となっている。	
表記・表現	○他の資料や領域をまたがる資料については、リンク先の表記がしてあることにより、他分野や他教科との関連が分かりやすく工夫されている。 ○領域ごとに色分けされ、すぐにめあてのページを開きやすくなっている。 ○AB版で今までよりサイズが大きくなり、UDフォントを使用し、文章と図などの配置が見やすく工夫されている。	
総括	○学習に対する考え方が分かりやすく、写真や図なども見やすいものとなっている。基本的な知識や技能の習得など、生徒の実態に合わせて学習ができるものとなっている。学習内容の表記が見やすく構成されている。	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【家庭分野(技術・家庭)】

項目	書名	6
	NEW 技術・家庭 家庭分野	教図
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○内容が順序良く構成されており、「やってみよう」と題して、わかりやすい構成となっている。学習の進め方などがしやすくなるよう工夫されている。</p> <p>○様々な図や写真、参考例などが掲載され、生徒の視覚に訴え、基礎基本の知識や技能の理解が進むよう工夫されている。</p>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○生徒への課題が順序よくなされ、課題解決への手順がわかりやすくなっている。説明や実物を用いた例などもわかりやすくなっている。</p> <p>○課題解決的な学習が進められるよう工夫されている。</p>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○学習の楽しさや様々な体験談などを交え、構成に工夫が見られる。生徒の未来に向けての考え方の参考になるよう工夫されている。</p> <p>○環境問題など、生徒が社会の一員として考えるべき内容が盛り込まれている。</p>	
	<p>〈実践的・体験的な活動の工夫〉</p> <p>○今までの家庭での生活を踏まえ、これから取り組むべき課題などについて掲載されており、将来に渡って考えられるよう工夫がされている。</p> <p>○各領域のまとめとして、学習してきたことを踏まえ、これからどのように生活していくかを提言し、生徒に考えさせる工夫がされている。</p>	
資料	<p>○生徒が理解しやすいよう、実物の写真を多く掲載している。マークを示して文章と共に関連付けて見やすくしている。</p> <p>○ページの隅にも資料を入れてあり、生徒の興味関心を引く構成となっている。</p>	
表記・表現	<p>○他の資料や領域をまたがる資料については、リンク先の表記がしてある。他分野や他教科との関連を見つけやすく工夫されている。</p> <p>○領域ごとに色分けされ、すぐにめあてのページを開きやすくなっている。</p> <p>○AB版で今までよりサイズが大きくなり、UDフォントを使用し、文章と図などの配置が見やすく工夫されている。</p>	
総括	<p>○学習の進め方の流れが分かり、写真や図なども大きく見やすいものとなっている。基本的な知識や技能の習得については、生徒の実態に合わせる事ができるものとなっている。学習内容の確認がしやすく構成されている。</p>	

(別紙様式)

第13 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【家庭分野(技術・家庭)】

書名 項目	技術・家庭 家庭分野	9
		開隆堂
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○各領域の単元ごとに学習の内容と目標が設定されており、基礎的・基本的な知識・技能を習得させることが分かりやすく表示されている。また、内容も順序良く構成されており、学習の進め方がしやすく工夫されている。</p> <p>○生徒の興味・関心を支えるため、様々な参考例や考え方が掲載され、生徒の考えを実現できるように工夫されている。</p>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○生徒の考え方や方向性を示す内容が掲載され、課題に取り組みやすく、話し合いや実物を用いた説明などがしやすくなっている。</p> <p>○問題解決的な学習が進められるよう工夫されている。</p>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○学習してきたことが、わかりやすく将来に生かせるよう工夫されている。これからの新しい社会に向けて自分が何をすべきか考えられるようになっている。</p> <p>○家庭での生活と社会における問題を提起し、将来に向けて考えていくことや人としての生活のあり方にも目を向けている。</p> <p>○各領域のまとめとして、学習してきたことを踏まえ、これからどのように生活していくかを提言し、生徒に考えさせる工夫がされている。</p>	
	<p>〈実践的・体験的な活動の工夫〉</p> <p>○各領域のまとめとして、学習してきたことを踏まえ、これからどのように生活していくかを提言し、生徒に考えさせる工夫がされている。</p> <p>○実習例が多く、家庭での参考になる部分が多く見られる。生徒が自ら考え実行できる内容となっている。</p> <p>○家庭での生活に対する考え方や、これから取り組むべき課題などについて掲載されており、将来に渡って考えられるよう工夫されている。</p>	
	<p>○生徒が理解しやすいよう、実物の写真を多く掲載している。図やイラストも多く、文章と共に関連付けて見やすくしている。</p> <p>○領域との間に資料があったり、ページの隅に豆知識を入れたりして、興味関心を引く構成となっている。</p>	
資料		
表記・表現	<p>○他の資料や領域をまたがる資料については、リンク先の表記がしてあることにより、他分野や他教科との関連が分かりやすく工夫されている。</p> <p>○領域ごとに色分けされ、すぐにめあてのページを開きやすくなっている。</p> <p>○A B版で今までよりサイズが大きくなり、UDフォントを使用し、文章と図などの配置が見やすく工夫されている。</p>	
総括	<p>○学習に対する考え方や進め方の流れが分かりやすく、写真や図なども大きく見やすいものとなっている。基本的な知識や技能の習得、学びに向かう力など、生徒の実態に合わせることができているものとなっている。学習内容の確認や定着がしやすく構成されている。</p>	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【英語(外国語)】

書名 項目	NEW HORIZON	2
		東書
内容	<知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○各セクションの中で5領域がバランス良く学習できるように構成されている。本文のSceneで導入した新出文型をPracticeで練習し、その後に「書く活動」「話す活動」が設定されている。知識及び技能を習得につなげるための工夫としてMini Activityが用意されている。	
	<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○日常生活の場面や旅行での場面など、実生活に即した具体的なコミュニケーションの場面が設定され、生徒が「自分の言葉として英語を使う」活動が豊富に用意されている。Read and Thinkでは3段読み(概要・大意をつかむ→詳細をおさえる→表現につなげる)で、内容理解にとどめず「読み」を発信につなげるよう工夫されている。	
	<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○日本の伝統・文化、異文化や国際理解、今日的課題など、多様な題材が用意されている。各学年に配置された「学び方コーナー」には、自学自習の参考となるよう学習段階に応じた英語学習法のヒントが示されている。「Stage Activity」では知識や技能を統合的に扱い、テーマ別の自己表現活動に結び付けている。	
	<聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫> ○目的や場面、状況に合わせたコミュニケーション活動が行えるよう、各単元に「Key Sentence」と「Practice」が設けられている。文法理解を通してコミュニケーション活動が円滑に行えるよう「Grammar for Communication」で文法を詳しく解説している。言語活動に必要な語彙が「Tool Box」「Stage Activity」等に取り上げられている。	
資料	○巻頭の「目的や場面、状況に合わせてコミュニケーションをしよう」「学習の見通しを立てよう」で、どのように学ぶのか、何を学ぶのかが明示されている。 ○各単元内のセクションごとにQRコードを設置し、家庭でもネイティブの音声に触れながら学習できるよう工夫されている。	
表記・表現	○各Unitが5領域の力をバランス良く育成するよう構成されている。 ○和文には、全編を通じて読みやすいUDフォントが使用されている。英文は、1年生では手書き文字に近い書体、2,3年生では手書き文字に近い書体と活字体を併用している。	
総括	○様々なタイプの読み物や多様な題材を取り上げることで「必要な情報を読み取る力」「概要を捉える力」「要点を捉える力」を育成し、そこから得られた「情報や表現」を活用して発信につなげるよう構成されている。また、各Unitの学習を積み上げた先に「Stage Activity」が設定されている。「Mini Activity」「Unit Activity」「Stage Activity」の順で、段階的に学習を発展させる構成となっている。	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【英語(外国語)】

書名 項目	SUNSHINE	9
		開隆堂
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○各 Program が Scenes (場面) Think (思考) Retell (再現) Interact (自己表現) の順で構成されており、5領域を順番に学習できるような構成になっている。Retell のページにおいて本文の内容を振り返り、各 Program の最後に文法事項の説明が配置され、基礎的・基本的な知識を習得できる構成となっている。Think のページには音読回数をチェックできる箇所があり、音読技能を高められるよう工夫されている。</p>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○各 Program は Scenes のページで基本的文法事項に触れ Think のページで長文読解を行う、Retell や Interact のページで学んだ文法事項を使いコミュニケーション活動を行う、と系統的に学習できるよう配列されている。Power-Up のページでは日常生活で起こり得る場面を想定したコミュニケーション活動が設定されている。</p>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○日本の伝統文化を知り文化を発信する、異文化を知り国際理解を深める、自然科学に目を向け生物界の人間として自覚を促す、SDGs に関連した題材など、豊かな心を育む多様な題材が用意されている。「Interact」や「Our Project」では自分の意見を持たせた上で、目的や相手を意識したコミュニケーション活動を通して相手にわかりやすく伝えられる力がつけられるよう工夫されている。</p>	
	<p>〈聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫〉</p> <p>○Listening, Speaking, Reading, Writing それぞれの技能に特化した内容が配置されている。Power-Up では実際に体験する場面を想定したコミュニケーションの内容、Our Project では資料の読み込みや話し合いを行い自分でスピーチを考える等の内容、Reading では長文を読み、その内容をまとめられるページが用意されている。</p>	
資料	<p>○巻末資料にそれぞれの学年で学習した内容のまとめがあり、復習できるよう工夫されている。各学年の表現活動で活用できるアクションカードが付録として設置されている。</p> <p>○各単元内のセクションごとにQRコードを設置し、家庭でもネイティブの音声に触れながら学習できるよう工夫されている。</p>	
表記・表現	<p>○各プログラムの会話のページでは優しい字体での表記、興味を引くような内容の工夫がある。5領域のうち何を重視して学習すべきなのかを示した記号が設置されている。</p> <p>○1年生の初めは手書き文字書体、内容は話すことや聞くことが中心である。2年生からは字体や文字の大きさも変え、徐々に情報量を増やしている。</p>	
総括	<p>○基礎を学ぶ Program から Power-Up へ、Reading を通して Our Project へ、と発展させる内容構成となっている。各 Program で学んだ文法事項等を、日常的に使う場面を想定して練習できる内容が取り入れられている。身の回りの場面から社会的な場面まで、自分の言葉として英語を使う力を育てられるよう、ペアワーク、グループワーク、または、個人で作成した内容を発表するといった様々な活動が用意されている。それぞれの Program が5領域をバランスよく取り入れた構成となっている。</p>	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【英語(外国語)】

項目	書名	15
	NEW CROWN	三省堂
内容	<知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○各単元に「GET」「GET Plus」が設けられ、学びのプロセスを構成的に配置している。「GET」では基礎的・基本的な語句や表現、文法事項や文構造の習得を、「GET Plus」では会話の中の表現と言語の働きを整理し、実際のコミュニケーションで活用する力を養うよう工夫されている。また統合的活動として各学年3か所に「Project」を配置し、知識・技能の定着を図る構成となっている。	
	<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「USE」で読み取る力、書く力、発表する力、聞く力を育て、それらを統合する活動「Project」を通して、思考力・判断力・表現力を養うことができるよう構成されている。思考力・判断力の育成を図った上で、個人での取り組み、グループでの話し合い活動、ディスカッションを段階的に設定し、表現力育成のためのスモールステップが用意されている。	
	<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○各単元の「とびら」で学ぶ内容への動機づけをし、学習の見通しが立てられるよう工夫されている。生徒の知的好奇心にこたえる題材、人間教育に資する題材など、興味・関心、発達段階に応じた多様な題材を通して現実の様々な課題に対応し、知識や考えを深めることができるよう、豊富な内容が用意されている。	
	<聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫> ○5領域のバランスに配慮した豊かな言語活動が「Take Action」「Project」に用意されている。様々な言語活動を通して対話的な学びを引き出し、目的や場面、状況に応じたコミュニケーション能力育成のための工夫がみられる。自己表現を書き込むことのできるページが随所に設定されている。	
資料	○本文の内容理解を助けるイラストや写真が効果的に配置されている。また、1年間の学習を自己評価できるよう、巻末にCAN-DOリストが示されている。 ○各単元内のセクションごとにQRコードを設置し、家庭でもネイティブの音声に触れながら学習できるよう工夫されている。	
表記・表現	○学年に合わせた情報量や内容、フォントや配列・行間に配慮がみられる。UDフォントが効果的に使われている。 ○場面に合わせて言語活動で活用できる語句リストとして「いろいろな単語」、会話を繋げるための表現リストとして「会話表現」を付録として配置している。	
総括	○「とびら」で学びの見通しを立て、「GET」で基礎的な知識・技能を習得し、「USE」で知識・技能を活用して思考力・判断力・表現力を養う構成となっている。また、統合的な活動を通して学びを振り返ることのできる「Project」が各学年に設定され、自分の考えや意見を発信できる資質を段階的に培う配置構成となっている。各ページの役割が明確に示されており、学びのプロセスが「見える化」されている。	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【英語(外国語)】

項目	書名	17
	ONE WORLD	教出
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○Lessonの各Partが本文、Key sentence、Listenの順で構成されており、読むことに重点を置いた教科書となっている。Partごとに対話文、物語、スピーチ等が設置されており、様々なタイプの英文に触れる工夫がされている。また、Grammarのページでは文法事項を詳しく説明し、既習事項の確認ができるよう工夫されている。</p>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○TipsやProjectのページでは聞いて考える、判断する、考えて表現ができるようにするための内容が取り入れられている。Useful Expressionsのページでは日常生活で使われる表現を練習する場面が設定されている。1年生の教科書の初めには各Lessonで学習した内容を踏まえた表現を使って書き込むことができるページがある。</p>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○巻末の「Activities Plus」では、その学年で学習した内容がまとめられている。Q&A方式でマスキングシートを使用しながら質問に答える練習ができる付録が用意され、1年間で学んだ表現を復習できるよう工夫されている。また、各学年教科書の裏見返しにはCan-Do自己チェックリストが設けられ、5領域にわたる到達目標がわかりやすく掲載され、自己評価することができる。</p>	
	<p>〈聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫〉</p> <p>○本文を聞くこと、読むこと、内容を理解することから入り、文法を理解した上で話すこと、書くことを学習する構成となっている。Lesson以外でも読み物資料が多く配置されていることから、音読練習や本文の聞き取りを通して読む力、聞く力が育成される。1年生は小学校とのつながりに配慮し、小学校で学習した表現を使って言語活動できる内容が工夫されている。</p>	
資料	<p>○各学年には英語の学習の仕方をアドバイスしたHow to Studyのページが設けられ、自学自習の参考となる。</p> <p>○各Lessonの最初のページにQRコードを設置し、家庭でもネイティブの音声に触れながら学習できるよう工夫されている。</p>	
表記・表現	<p>○興味を高める写真掲載、各セクションの内容に沿った字体が工夫されている。目次で1年の学習の流れが明示され、教科書で使われている記号の説明も詳しくされている。</p> <p>○1年生の最初は読みやすい対話文を取り入れ、学年が上がるにつれて英文の情報量を増やしている。</p>	
総括	<p>○各Lessonの本文は生徒の興味を引く内容が取り入れられている。1年生の対話文は身近で親近感が持てる内容である。海外の文化と日本の文化を比較できるような内容構成とすることで、グローバルな課題に身近な場所から取り組むことができる。各Lessonを中心としながらTips、Projectや資料を通して5領域をバランス良く学習できる仕組みとなっている。1年生では、小学校で学んだ表現を楽しく、効果的に復習することができる「Springboard」のページが設定されている。</p>	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【英語(外国語)】

項目	書名	38
	Here We Go!	光村
内容	<知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○Unitの構成において、各単元の目標(Goal)に向かって基礎的な知識・技能を習得・活用しながら5領域の力をバランスよく伸ばすことができるよう構成されている。「Active Grammar」と題した文法事項のまとめのページが設けられ、文構造や文法の単なるまとめではなく、ストーリーの中での言語の使用場面と文型・文法を結びつけながら、知識・技能を活用できるよう工夫されている。	
	<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○各学年3カ所に、既習の知識・技能を活用して取り組む5領域を統合した言語活動「You Can Do It!」が設定されている。思考力・判断力・表現力を養う教材として位置づけられている。また、本文やLet's Read、World Tourの随所にThinkの問いが設けられ、文脈から類推したり想像力を働かせたりしながら、自分の考えを持てるよう工夫されている。	
	<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○各Unitの扉のページではその単元で「何ができるようになるか」が明示され、生徒が目標を明確にして学習に向かうことができるよう工夫されている。また、英語を通して学んだ知識を自分の生活や実社会の問題、他教科と有機的に結びつけた学習に発展させることができるよう、多様な題材が用意されている。	
	<聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫> ○空港アナウンスの聞き取りや、カフェでの注文のやり取り、ボランティア募集のポスターを読む、英語で宛名を書くなど、実社会に即した具体的なコミュニケーションの目的や場面・状況を設定し、それぞれの場面で必要な領域や表現に焦点を当てて練習できるよう工夫されている。	
資料	○生徒が1年間の学びをセルフチェックし、自分の成長を確かめ自己評価できる工夫としてCAN-DO LISTが示されている。 ○各単元の「Part」ごとにQRコードを設置し、家庭でもネイティブの音声に触れながら学習できるよう工夫されている。	
表記・表現	○学年に合わせた情報量や内容、フォントや配列・行間に配慮がみられる。UDフォントも効果的に使われている。 ○1年の巻頭には音と文字を結びつけるページ、2、3年の巻末には、つづりと発音のルールを学ぶ資料が用意されている。	
総括	1年から3年まで同じ登場人物を配し、登場人物の体験や交流の姿に共感しながら、ともに成長していけるようなストーリー仕立ての構成となっている。ストーリーの中で出会う英語には、言葉の学びに必要な3つの要素「目的」「場面」「状況」が揃い、繰り返し触れることで豊富なインプットが得られるよう工夫されている。自身に置き換えて考えられる場面を随所に配し、自然なアウトプットや対話的な学びに繋がるよう構成されている。	

(別紙様式)

第 1 3 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目 (教科等) 【英語 (外国語)】

書名 項目	BLUE SKY	6 1
		啓林館
内容	<知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○日常的な話題に始まり、学年が進むにしたがって徐々に社会的な話題を取り上げ、生徒の発達段階に応じた題材構成となっている。Unit の扉に掲載された各「Part」の写真により、題材への興味・関心が高められるよう工夫されている。「Words」「Target」「Practice」で語彙や文法事項を適切に配置し、十分な練習を行うことで幅広い知識・技能が習得できるよう構成されている。	
	<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○各「Part」で場面や状況を捉え、「Read and Think」で本文に関連した内容を読み深めることで自分の意見や考えを持ち、「Express Yourself」で自己表現を行うという学習の流れである。5 領域を統合した活動として「Project」のページが設けられ、思考力、判断力、表現力を高めることができる。	
	<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○日本や世界で今起きていること、実在する人物や実際の出来事が題材として扱われており、興味関心を引き出す工夫がなされている。外国との文化比較、日本文化・地域社会、職業・生き方、現代社会、自然・動物・環境、他教科との連携、物語など、多岐に渡るジャンルの題材が提示されている。	
	<聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫> ○各 Unit の扉には各「Part」の目標が明示されている。「話す」「聞く」「読む」の各技能を集中して学習できるよう「Let's Talk」「Let's Listen」「Let's Read」のページが設けられている。言語活動に必要な語彙や表現は「Tool Box」に掲載されており、巻末資料の「Word Box」には場面や状況ごとにまとめられた語彙や表現が掲載されている。	
資料	○巻末の Can-Do リストには、3 年間の英語学習の達成目標が示され、見通しを持って学ぶことができるよう工夫されている。 ○各単元の「Part」ごとに QR コードを設置し、家庭でもネイティブの音声に触れながら学習できるよう工夫されている。	
表記・表現	○1 年生は UD フォント、2 年生からは活字体を使用している。また、1 年生ではアクセントのみを各単語に付記し、発音記号は巻末に掲載されている。2, 3 年生ではアクセントと発音記号が本文中の各単語に併記されている。 ○豊富なイラスト・写真が、読解をサポートするよう工夫されている。	
総括	○日本や世界で今起きていること、実在する人物や実際の出来事など「リアルな題材」を取り上げることで生徒の興味関心を引き出し、題材を通して「読んでみたい」「伝えたい」を引き出し、読解力の育成、発信力の育成につなげている。1 年生の巻頭では小学校で学んだ語彙・表現を用いた学習を行い、3 年生ではディスカッションや長文での自己表現活動が用意され、小・中・高の接続を重視した構成となっている。	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等) 【道徳】

書名 項目	新しい道徳	2
		東書
内容	<p>〈学習指導要領の教科の目標に関わる工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">○ねらいとする内容項目がぶれないように、各教材冒頭にテーマを設定し、導入で問題を提起してから教材に入る問題解決的な学習の流れを作り、価値理解を深められるよう工夫されている。○それぞれの教材に「考えよう」や「自分を見つめよう」を設け、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるための発問が用意されている。また、補助教具として「心情円」を用意し、考えたり思ったりしたことを可視化できるよう工夫されている。○新聞や漫画を使った教材など、様々な視点から多面的・多角的に考えることができる教材が用意されている。また、自己を見つめ、成長を実感できるよう、各学年巻末に自己評価用紙が用意されている。	
	<p>〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">○「いじめ問題」と「生命尊重」について、全学年複数教材を組み合わせたユニットを適切な時期に配置し、いろいろな側面から多面的・多角的に考え、深めることができるよう工夫されている。○人権、防災など、様々な現代的な課題について考えさせる教材が多数掲載されている。また、各学年1つずつ「情報モラルと友情」というテーマの教材が用意されている。スマートフォンの画面を活用する等の工夫もされている。	
	<p>〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">○1年生は郷土の学習、2年生は国の学習、3年生は国際理解の学習を重点項目に設定し、学年が進むにつれて考える範囲が広がっていくよう構成されている。○小学校の定番教材が掲載されている。また、3年生では中学校卒業後の将来について考えられるページを用意し、初等教育、高等教育との関連が図られている。	
	<p>〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">○話し合いの時間を十分に確保できるよう、教材は短時間で読めるものを中心に用意し、設問の数は各教材2問に精選されている。○各学年2つずつ、役割演技などの手立てを示す「ACTION」を掲載し、話し合いや体験的な学習を通して考えが深まるよう工夫されている。○各学年の巻頭に「話し合いの手引き」が配置されており、話し合いの手順やルールが明示されている。	
資料	<ul style="list-style-type: none">○各学年5つずつ、直前の教材に関連したコラムページ「PLUS」が設けられている。○教科書裏表紙に二次元コードが用意され、教材と関連する映像などをインターネットを通じて見られるよう工夫されている。	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none">○すべての生徒が支障なく学習できるよう読みやすい字の大きさ、分かりやすい表現が用いられ、設問などは文節改行するなどの工夫がされている。○目次と教材冒頭に学習指導要領の四つの視点が色とマークで示されている。索引は四つの視点と内容項目ごとに分類されている。○AB判で写真や図版を効果的に用いながらも、生徒の負担を軽減するため、軽くて薄くて丈夫な紙を使い、軽量化されている。	
総括	<ul style="list-style-type: none">○話し合い活動の時間が十分に確保できる適切な文章量の教材が多く、心情円やホワイトボードの用意など、生徒が深く考えることができるような多くの工夫がなされ、「考え、議論する道徳」の実現が第一に考えられている。○発達段階に合わせ、系統的に学習できるよう教材が配置されている。	

種目(教科等)【道徳】

書名 項目	とびだそう未来へ 中学道徳	17
		教出
内容	<p>〈学習指導要領の教科の目標に関わる工夫〉</p> <p>○内容項目についての直接的な表記はないが、学習指導要領で示されている四つの視点のどれに該当するかを、色と絵柄で区別して表記されている。また、それぞれの教材のタイトルの下には、この教材を通してどんなことを考えていくのか、意識付けをする問いが、わかりやすく端的なことばで紹介されており、見通しを持って学習に望むことができるような構成になっている。</p> <p>○教材の最後には「学びの道しるべ」があり、道徳的諸価値についての理解を深められるよう工夫がされている。</p>	
	<p>〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉</p> <p>○「いじめ問題」「差別問題」「生命の尊さ」について深く考えさせる教材を複数組み合わせたユニットを設け、多面的・多角的な考え方ができるよう工夫されている。</p> <p>○発達の段階に即した生活場面から「情報モラル」について考える教材が掲載され、情報機器を通したより良い人間関係について主体的に話し合えるよう工夫されている。</p>	
	<p>〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉</p> <p>○たとえば、テーマ「自然・環境」では、1年生が富士山、2年生が釧路湿原、3年生が地球と、発達段階に即した内容が取り込まれており、世界遺産や自然を守ることについて考えることができる構成になっている。</p>	
	<p>〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉</p> <p>○すべての教材の最後に「学びの道しるべ」が示され、どの教材も3つの問いを連携させて深い学びにつながるよう工夫されている。また、「やってみよう」という活動のページがどの学年にも配置され、役割演技や、日常の体験を想起して話し合う活動が取り入れられている。</p> <p>○内容が把握しやすい短めの教材や「読む」ことだけに頼らない教材をいかして、全員が話し合いに参加し、考え合えるような工夫がされている。</p>	
資料	<p>○全学年、本教材が30本、補充教材が5本の計35本で構成され、補充教材と差し替えて、郷土資料などの多様な教材を活用したり、重点化したい学習内容を二時間で扱ったりする工夫等が取り入れやすく、創意工夫ある効果的な指導が出来るよう用意されている。</p>	
表記・表現	<p>○教材は区切りがしっかりと分かるよう、すべて右ページから始まるよう工夫されており、内容が見開きで見渡せるよう工夫されている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインを取り入れ、色覚特性を踏まえて、4つの内容項目等も色で分けるなど、判別しやすい配色や表現方法がされている。</p>	
総括	<p>○イラスト、写真、漫画など表記が多岐にわたり、生徒の興味関心を高める工夫がされている。</p> <p>○教材冒頭の導入と教材末尾の「学びの道しるべ」で、生徒が流れとポイントをおさえながら道徳的諸価値について考えられるよう工夫されている。</p> <p>○実際の行動と結びつけて道徳的諸価値を学べるよう「やってみよう」が設けられている。</p>	

種目(教科等)【道徳】

書名 項目	きみがいちばんひかるとき 中学道徳	38
		光村
内容	<p>〈学習指導要領の教科の目標に関わる工夫〉</p> <p>○各学年とも1年間が3つのシーズン(まとめ)に分けられている。また、3つのシーズンには、学習指導要領に示されたA～Dの四つの視点が、発達段階を踏まえ、バランス良く配置されている。</p> <p>○それぞれのシーズンには、学びのテーマ(「自ら考えて」「広い視野で」「共に学び合いながら」)が設定され、そのテーマに合わせて教材をまとめ、ユニットが構成されている。それにより、系統性、連続性のある学習が可能となり、教師にとっても年間を見通した計画が立てやすくなるよう工夫されている。</p>	
	<p>〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉</p> <p>○生徒が自分の問題として考えられるよう、様々な教材が取り扱われている。特に「環境」(各学年1つずつ)「国際理解」(各学年1つずつ)「共生」(各学年2つずつ)については、教材のあとに「広めよう」というコラムが用意されており、考えが深められるような工夫がされている。</p>	
	<p>〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉</p> <p>○主体的・対話的で深い学びを実現するために、各学年とも四カ所ずつ「深めタイム」が配置されており、前の教材で学んだことを、自分に引きつけて考えられるような配置となっている。特に「いじめ問題」と「情報モラル」については、全学年に設けられており、三年間を通してじっくり考えられるよう工夫されている。</p>	
	<p>〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉</p> <p>○自ら問いを発見し、時には協働しながら多面的・多角的に物事を考えられるよう、また自分の考えの変化や深まりが実感できるよう、その教材の最後には「考えよう」「見方を変えて」「つなげよう」が示され、深い学びにつながるよう工夫されている。さらに、各学年に一教材「見方を変えて」で役割演技の取組が提案されており、「考える道徳」「議論する道徳」に取り組みやすいように工夫されている。</p>	
資料	<p>○全学年に付録として、小学校の道徳の時間で学んだ教材が掲載され、学び直しをした結果、自分の心の成長が読み取れるように工夫されている。また、全学年2つずつ著名人による「あなたへのメッセージ」が掲載され、それぞれが考えさせられる内容となっている。</p>	
表記・表現	<p>○特別支援教育を意識して、すべての生徒がイメージしやすいように、場面がわかりやすい漫画や人物解説が施されている。また、カラーユニバーサルデザインの配慮がなされ、学習指導要領の四つの視点を表す印がデザインされている。さらに、はっきりと読みやすいUDフォントが使用されている。</p>	
総括	<p>○教科書はB5判になっており携帯しやすいサイズとなっている。</p> <p>○「学びの記録」では、生徒は自分の変化や成長を振り返ることができ、教師は生徒の成長を見取ることができるようになっている。</p>	

種目(教科等)【道徳】

書名 項目	中学道徳 あすを生きる	116
	中学道徳 あすを生きる 道徳ノート	日文
内容	<p>〈学習指導要領の教科の目標に関わる工夫〉</p> <p>○異なる内容項目に属する様々な教材・コラムを組み合わせたユニットとしてまとめられ、1年生から3年生まで、年間複数の教材が配置されている。一定期間に集中的に学ぶことで、より深く、多面的・多角的に考えられるように工夫されている。</p>	
	<p>〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉</p> <p>○現代社会が抱える諸問題に関わって「いのちの大切さ」や「情報モラル」など、さまざまなテーマが取り上げられている。未来を担う生徒達が前向きに取り組んでいけるような教材・コラムを選定し、1年間の見通しをもって学べるような構成となっている。</p>	
	<p>〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉</p> <p>○1年生は「いじめ」の認知件数が多いという実態を踏まえ、ユニット「『いじめ』と向き合う」が年間に3カ所配置されている。また、2・3年生にも2カ所配置されている。</p>	
	<p>〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉</p> <p>○議論や体験のようすが写真で示され、活動内容をイメージしやすいよう配慮されている。演技を見るときに注意点や、意見発表の流れを具体的に示し、体験的な活動が進めやすくなるように工夫されている。</p> <p>○「問題解決的な学習」や「体験的な学習」に適した教材には、参考例として「学習の進め方」を設け、ホワイトボードなどを使った議論の方法や教材参考資料、さらに「考えを深める視点」として多面的・多角的な視点からの問いが示されている。</p>	
資料	<p>○各教材・コラムは、生徒の発達の段階や学校の年間行事などを踏まえ、適切な時期に配置されている。生徒が教材の内容を「自分にとって身近なこと」として捉え、主体的に取り組めるように工夫されている。</p> <p>○教材の内容を理解するために大小様々な写真や挿絵などが掲載されている。</p>	
表記・表現	<p>○すべての生徒が等しく学べるように、カラーバリアフリーを含めたユニバーサルデザインなど、特別支援教育の観点からさまざまな配慮がされている。</p> <p>○文章の読解が難しい生徒も理解しやすいよう、漫画形式の教材を取り入れたり、クライマックスともいえる場面で原作絵本の挿絵が大きく掲載され、衝撃と感動が伝わるようにしたり、イメージしやすい工夫がされている。</p>	
総括	<p>○登場人物を紹介することで内容把握を助け、議論する時間をより確保できるよう工夫がされている。「考えよう」や「自分に+1」で「考え、議論する」発問例や前向きに自分を生かす発問例が挙げられ、ねらいに迫ることができるような構成となっている。</p> <p>○別冊「道徳ノート」に自分や友達の意見を書き留めることで、生徒が自らの成長を実感し、道徳科で求められる「生徒一人ひとりを励ます個人内評価」が無理なく実現でき、家庭との連携も図ることもできるように工夫されている。</p>	

書名 項目	新・中学生の道徳 明日への扉	224 学研
内容	<p>〈学習指導要領の教科の目標に関わる工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭に授業への向き合い方として「考えを深める四つのステップ」が明示され、主体的な学習態度を育むよう工夫されている。さらに問題解決的な授業の流れがわかる特設ページ「深めよう」が提示され、生徒が主体的に考え、判断し、意欲的に行動できるように工夫されている。 ○視点や内容項目の異なる複数の教材を関連させ、広い視野で考えられるように工夫されている。 ○教材本文の前に主題名を表示しないことにより、特定の価値観を押し付けることなく生徒が主体的に学びを深めることができるよう配慮されている。 ○「クローズアップ」を中心に道徳での学習を日常生活に活かし、道徳性の育成につなげられるよう工夫されている。また巻頭、巻末に学びの記録ができる紙面が用意され、年間を通して自分の成長を客観的にとらえることができるように配慮されている。 	
	<p>〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「命の教育」が全学年を通じて最重要テーマとしており、「生命の尊さ」の教材を各学年3教材ずつ掲載されている。 ○「いじめ防止」につながる教材は様々な内容項目から多数用意され、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。 ○「SDGs」「キャリア教育」を全学年ユニット学習とし、視点や内容の異なる複数の教材を関連させ、広い視野で考えさせる授業が展開できるよう工夫されている。 	
	<p>〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学年ごとに発達的特質に応じたテーマを設け、該当項目に複数の教材が用意されている。 (1年 みんなと生きる(友情・信頼等) 2年 社会に生きる(社会参画等) 3年 世界で生きる(国際理解等)) ○情報モラルの教材は各学年2教材ずつ用意され、そのうち1教材は同じテイストのイラストを使用し、発達段階に合わせて系統的な問題提起できるよう配慮されている。 	
	<p>〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主体的に議論したくなるような図やグラフ、会話文など新感覚型の教材が多く用意されている。 ○教科書巻頭に「考えを深める4つのステップ」が用意され、話し合った上で自分の生き方を考えていけるような授業の流れが明示されている。 ○「深めよう」では、問題解決的な話し合いや、役割演技などの手立てが提示され、学習のめあてや流れを理解しやすくなるよう工夫されている。 	
	<p>資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○AB版を採用し、写真や図版が大きく効果的になるよう工夫されている。 ○教材ごとに生徒の興味を引く一言や授業に向き合うためのキープレーズが記されている。また、様々な生き方から学べるよう、各学年20名以上人物が掲載されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○目次と教材は学習指導要領の四つの視点が色とマークで示されている。 ○字の大きさや色遣いなど、ユニバーサルデザインの考えに基づき制作されている。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○選び抜かれた教材を用い、主題名をあえて明示せず、授業の学び方や向き合い方を明示することによって、生徒の主体的な学びと気づきができるよう工夫されている。 ○「SDGs」と「キャリア教育」のユニット学習や様々な人の生き方に触れることができる教材から、自分の生き方を見つめ、プラス思考と未来志向を備えた生徒の育成がなされるよう工夫されている。 	

種目(教科等) 【道徳】

項目	書名	232
	中学生の道徳 中学生の道徳ノート	
内容	<p>〈学習指導要領の教科の目標に関わる工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本冊と別冊「道徳ノート」の2冊構成となっている。この2冊で「考える・話し合う・自分を振り返る」ことができ、「指導と評価の一体化」に応えられるよう工夫されている。 ○各教材末尾に「考える・話し合う」を提示することにより、生徒の主体的な学習が促されるように工夫されている。また、視点の異なる複数の問いを設け、多面的・多角的に考える力が育めるよう配慮されている。 ○別冊「道徳ノート」は授業内容に応じて自分の考えを記述することができ、心の成長や変容を実感することができる構成になっている。 	
	<p>〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「生命尊重」と「いじめ防止」と関わりの深い四つの内容項目(自主・自立・自由と責任、思いやり・感謝、生命の尊さ、よりよく生きる喜び)を重点項目とし、それぞれについて3教材ずつ掲載されている。 ○情報モラルや持続可能な社会など現代的な課題についての教材が全学年に配置し、本冊巻末に特集ページを設け、他の教育活動との関連を図りながら活用できるよう工夫されている。 	
	<p>〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○内容項目を巻頭や教材冒頭に載せず、生徒自らが道徳的価値を見いだせるように工夫されている。 ○学年が進むにつれ、価値そのものを深く考え、哲学的に思考することができるよう教材や問いが精選されている。 	
	<p>〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各教材末尾に「考える・話し合う」が設けられ、生徒が学習の見通しをもって学ぶことができるよう構成されている。 ○生徒の心を揺さぶるような、感動教材や真剣にいじめに向き合う教材などが精選して用意されている。また、生徒たちと年代の近い主人公の作品が積極的に掲載され、共感しながら考えられるような構成になっている。 ○問題解決的な学習を促す教材や体験的な学習を促す教材など、「考え、議論する」が追求できるような教材が精選されている。 	
	<p>〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各教材末尾に「考える・話し合う」が設けられ、生徒が学習の見通しをもって学ぶことができるよう構成されている。 ○生徒の心を揺さぶるような、感動教材や真剣にいじめに向き合う教材などが精選して用意されている。また、生徒たちと年代の近い主人公の作品が積極的に掲載され、共感しながら考えられるような構成になっている。 ○問題解決的な学習を促す教材や体験的な学習を促す教材など、「考え、議論する」が追求できるような教材が精選されている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○本冊には教材と合わせて活用できる資料ページ thinking が掲載されている。別冊ノートにはそれぞれの内容項目について考えを深めるような多くの資料が掲載されている。 ○「インターネット」のマークのある題材には、関わりのある補助資料を見られるデジタルコンテンツが用意されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○A B判を採用し、イラストの配置を工夫することで圧迫感のない紙面構成になっている。 ○「誰でも見やすい・読みやすい」ように、本冊は配色の良さと見やすさが重視されている。 ○本冊に別冊を挟み込むことで一体になるように製本されている。 ○教材冒頭に学習指導要領の四つの視点が色とマークで示され、道徳ノートのページ数が付されている。巻末には、教材ごとに内容項目が示されている。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○中学生だからこそ読んでほしい感動教材や人物教材の精選に力を入れている。 ○「道徳ノート」との併用により、主体的な学習を促し、多面的・多角的に考え、道徳性の育成につなげるとともに、心の成長や変容を実感できるよう工夫されている。 ○他の教育活動との関連で考える現代的な課題や発達の段階に応じた深まる教材が配置されている。 	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等) 【道徳】

書名 項目	道徳 中学	233
		日科
内容	<学習指導要領の教科の目標に関わる工夫> ○学習指導要領の内容項目順に教材が配置されている。「A自分自身と向き合う」「B人とのかかわり」「C集団や社会とのかかわり」「D自然や崇高なもとのかかわり」の4章立ては、それぞれ学習指導要領のA B C Dに対応しており、教科書の順番に縛られることなく、各地域、各学校の特色や方針によって、自由に各教材を活かせるよう工夫されている。	
	<現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○生命とは何か、その尊さを守るためにはどのように考えればよいかなど、生命尊重への学びをより深める教材が多数掲載されている。また、本書全体で「正義」「寛容」「人権」「人間愛」など、さまざまな教材の主題で「いじめを許さない心」が育成できるような構成となっている。	
	<発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫> ○中学校3年間は、心も体も大きく成長する時期であり、その発達の段階を考慮しつつ、学年間の繋がりも重視した教材が採用されている。例えば、3年生ではキャリア教育の視点からキャリア発達段階の連続性が考慮された配置となっている。また、併せて特別活動における「一人一人のキャリア形成と自己実現」学習との関連を意図した内容になっている。	
	<「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○答えが1つではない道徳的な問題を、一人一人の生徒が自分自身の問題として捉え、「考えることができる」「議論することができる」ように工夫されている。教室で自然と議論が巻き起こるような仕掛けを「教材内容」と「問い」に施している。価値観の多様性をしっかり受け入れる寛容な心を育む教材として「リョウマとマキ」シリーズ、「一通のメッセージから始まる物語」「パートリーダー」などが配置されている。	
資料	○学校現場を経験し、中学生の問題や悩み、夢や希望に日々関わっている教師達が執筆したオリジナル教材が多く掲載されている。	
表記・表現	○巻末から逆引きすることで、分かりやすく教材を選択できるように、各教材と学習指導要領との対応表が掲載されている。 ○表紙には、過去から現在まで受け継いできた伝統や文化の写真を上段に、下段に現在から未来へと繋がる新しい技術の写真が掲載されている。	
総括	○現場の多くの先生方からの生徒の率直な反応や意見を反映させ、教室で自然と議論が巻き起こるような教材となるよう吟味されている。 ○教材ごとに、生徒の思考を揺さぶる問いとして「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」が設置されている。 ○巻末に心の成長を振り返るページを設け、1冊全体で1年間の自分の成長を感じられる構成になっている。	